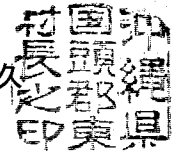




東農建第788号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長

東村長 伊集盛久



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号において、依頼のありました
みだしの件について、別紙のとおり報告致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖縄県 東村

- ・過疎地域の実情を踏まえ、都市地区と結ぶ幹線道路の整備を優先的に整備してほしい。(地域間格差の是正)
- ・自然災害等による道路ネットワークの分断を解消するための道路整備。(災害に強い道づくり)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

沖縄県 東村

○現状

・北部の中心都市名護市への通勤、通学、通院等が日常となっている。

(時間:約40分～50分を要する)

・災害時における道路の通行不能。

(台風等の自然災害時には、本村の国道331号線が頻繁に通行不能となる。
そのため村が分断され、救急車両等が5分で到着可能な地域が約30分も時間を
要している。)

○課題

・国道58号線の恒常的な渋滞(朝夕)の解消。

・国道331号線及び県道14号線の道路線形の改良。

・災害に強い道路への改良が必要。

②-2 地域の目指すべき将来像

・地域の自立・地域の活性化(交流促進)等のため、北部の拠点都市名護市や交通拠点(高速道路)までを結ぶ高規格道路の整備。
(本村は、「交流型農村建設」をキーワードに、地域資源を活用した「エコツーリズム」等の推進を積極的に行っているところであり、これまでの完結・自足型の地域から定住・交流が出来る開放型の地域に転換を図る必要があるため、名護東道路から東村・大宜味村・国頭村方面へ結ぶ、高規格道路の整備が必要。)

・災害時においても安心して通行できる道路の確保。

(災害対策を加味した道路整備)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

沖縄県 東村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活性化及び生活環境の向上 (都市と過疎地域とを結ぶ幹線道路の整備)	・沖縄北部地域の中でも国道58号線が通っている市町村に観光施設や公共施設等が集中している。(人口が多い等)	・交流人口及び定住者の増加。	